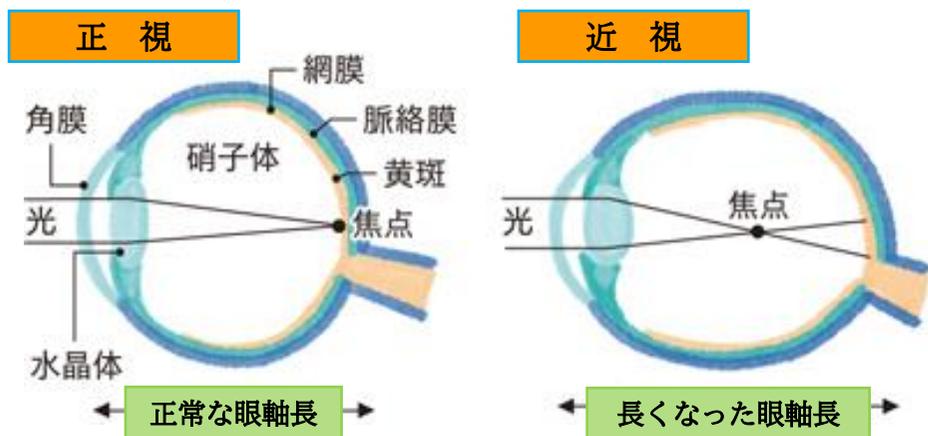


## Q&A 近視は治すことができますか・・・？

### 近視とは・・・

初めに、眼が調節をしていない時は、遠方からの光はちょうど網膜にピントが合います。これを「正視」といい「近視」でも「遠視」でもありません。それに比べて、近視は、網膜の手前でピントが合います。その結果、遠くのものぼやけて見えます。大部分の近視は、眼球の長さである「眼軸長」が正常よりも長くなることや、水晶体や角膜の屈折力が強いことが原因と考えられています。また、成長過程で進行し、遺伝的要因と環境要因が関係しているといわれています。



### 近視は治せるのでしょうか？

手術による近視矯正は、成人して近視の進行がないことを確認し、眼の状態によって可能であれば行われています。※当院では行っておりませんしかし、一度長くなった「眼軸長」を元に戻すことは出来ません。現在、国内外で近視の進行が抑えられる（眼軸が長くなるのを抑制する）ように様々な研究が進められています。低濃度アトロピン点眼（マイオピン）やオルソケラトロジーは、近視進行の抑制に有効です。※自費診療にて取り扱いしております



### 近視といわれたら・・・

目が疲れないように、読書や勉強するときは適切な明るさ、正しい姿勢を保ちましょう。外遊びをしたり遠くを見て眼を休めたり、テレビやゲームは時間を守って楽しみましょう！

また、高度な近視は、将来、黄斑変性と網膜剥離などの眼の病気のリスクが高まることがありますが、近視そのものは悪い病気ではありません。環境要因、遺伝子要因がありますが、近視は20代前半になっても進行するといわれています。

近視の進行を確認するためにも定期的に検診を受けることをおすすめします。



### 白内障手術

当院では 保険適応の多焦点眼内レンズ『レンジスコンフォート®』

を取り扱っております

レンジスコンフォート®は、2022年3月現在、日本国内で唯一の健康保険が適応となる多焦点眼内レンズです。健康保険が使えるため、患者様のご負担は通常の単焦点レンズと変わりません。

### ★特徴★

単焦点レンズに比べ、明視域と呼ばれる『よく見える』範囲が広いのが特徴です。遠方だけでなく中間距離の約66cmの距離まで良好な視力の獲得に期待が出来ます。また、ハローやグレアと呼ばれる、光のにじみの減少が少ないとされ、より安全に快適な日々の生活に貢献できるとされています。

※レンズの選定は、当院の基準によって

適応・非適応を決定しております。

医師の判断により、希望されても

適応しない場合があります。

詳しくは診察の際に医師にお尋ねください。

